

みやぎGPNニュース



今回の
内容

- 話題提供 3月のテーマは、「資源循環」
- 2月25日みやぎグリーン購入セミナーからプラスチック資源循環促進法及びサーキュラーエコノミーについて

2022.3

Vol.20

★上手に使い、共存していこう！ 事務局長 海藤節生（NPO法人水守の郷・セケ宿理事長）

■プラスチック資源循環促進法とは？2022年（令和4年）4月施行

この法律の概要について、令和4年2月25日市民活動サポートセンターにて開催された「みやぎグリーン購入セミナー」の中で環境省より説明がありました。プラスチック廃棄物の排出の抑制、再資源化に資する環境配慮設計・ワンウェイプラスチックの使用の合理化・プラスチック廃棄物の分別収集、自主回収、再資源化などについて基本方針が定められています。★SDGs NO.12「つくる責任、使う責任」に通じる・事業者及び消費者の責務についても下記のとおり書かれています。

①分別排出 ②再資源化 ③長期間の使用 ④過剰な使用抑制 ⑤リサイクル品の積極利用この5つを着実に遂行するためには、消費者一人ひとりのライフスタイルの変容が必要です。

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律案の概要

製品の設計からプラスチック廃棄物の処理までに関わるあらゆる主体におけるプラスチック資源循環等の取組（3R+Renewable）を促進するための措置を講じます。

設計
・
製造

【環境配慮設計指針】

- 製造事業者等が努めるべき**環境配慮設計に関する指針**を策定し、指針に適合した製品であることを**認定**する仕組みを設ける。
 - 認定製品を**国が率先して調達**する（グリーン購入法上の配慮）とともに、リサイクル材の利用に当たっての**設備への支援**を行う。



＜付け替えボトル＞

販売
・
提供

【使用の合理化】

- ワンウェイプラスチックの提供事業者（小売・サービス事業者など）が取り組むべき**判断基準**を策定する。
 - 主務大臣の**指導・助言**、ワンウェイプラスチックを多く提供する事業者への**勧告・公表・命令**を措置する。



＜ワンウェイプラスチックの例＞

排出
・
回収
・
リサイクル

【市区町村の分別収集・再商品化】

- プラスチック資源の分別収集を促進するため、**容リ法ルート**を活用した**再商品化**を可能にする。
 - 主務大臣が認定した場合に、市区町村による**選別、梱包等**を省略して再商品化事業者が実施することが可能に。



＜プラスチック資源の例＞

【製造・販売事業者等による自主回収】

- 製造・販売事業者等が製品等を**自主回収・再資源化**する計画を作成する。
 - 主務大臣が認定した場合に、認定事業者は廃棄物処理法の**業許可が不要**に。



＜店頭回収等を促進＞

【排出事業者の排出抑制・再資源化】

- 排出事業者が排出抑制や再資源化等の取り組むべき**判断基準**を策定する。
 - 主務大臣の**指導・助言**、プラスチックを多く排出する事業者への**勧告・公表・命令**を措置する。
- 排出事業者等が**再資源化計画**を作成する。
 - 主務大臣が認定した場合に、認定事業者は廃棄物処理法の**業許可が不要**に。

↓：ライフサイクル全体でのプラスチックのフロー

＜施行日：令和4年4月1日＞

資源循環の高度化に向けた環境整備・循環経済（サーキュラー・エコノミー）への移行

■サーキュラーエコノミー循環型社会への展望と課題

東北大学東北大学大学院環境科学研究科 先進社会環境学専攻 環境循環政策学分野 准教授 齋藤 優子

冒頭、地球規模で進む温暖化・エネルギーの問題や自然環境の劣化・資源の供給リスクといった課題による持続可能な社会の脅威について述べ、持続可能な社会形成に向け目指すべき社会として低炭素社会、自然共生社会、循環型社会構築の必要性が示され講演が始まりました。続いて環境と経済の両立する資源循環型社会の必要性について欧州連合・欧州委員会のこれまでの欧州プラスチック戦略・欧州グリーンディール政策についてお話しがあり、2020年3月に策定されたEU新循環経済行動計画の紹介から日本の資源循環の現況と課題、法整備について触れ新たな環境価値観の創造が求められるとSDGsのもう一つの捉え方の理念と共通するものと認識しました。環境省、仙台市、東北大学の具体的な取り組みについてもお話しがあり貴重な時間となりました。「オールみやぎで行動しよう！」という、今回セミナーのテーマと合致する「何をどうこうどうするか・・・考え共有することからはじめましょう！」という言葉で締められました。

■県民市民・事業者求められる環境配慮行動について

宮城県環境基本計画（第4期）・社の都環境プラン仙台市環境基本計画2021-2030

2021年度から2030年度までの10年間を計画期間とした社の都環境プラン(仙台市環境基本計画)並びに宮城県環境基本計画(第4期)は、目指す環境の将来像として、持続可能な社会の実現に向けてすべての主体が行動する！としています。市民県民の具体的なアクション、また事業者についても農林水産業、製造業に分けて取組の具体例が書かれていますので参考にしてみると良いと思います。

今回のセミナーは、本年4月1日より施行される「プラスチック資源循環促進に関する法律」から資源循環についてオールみやぎで！と銘打って行いました。社会課題を共有し、ひとりひとりがチェンジメーカーであることを認識し、それぞれ日々の行動に責任をもって暮らして参りましょう。



宮城県
環境基本計画



社の都
環境プラン

みやぎグリーン購入ネットワークの令和3年度の活動報告 2021/4/1～2022/3/31

■普及啓発事業

★SDGs出前講座①世界平和女性連合②協業組合仙台清掃公社③渡辺建設工業株式会社

★FB・エシカルちゃんと一緒に考えよう（毎週1回更新）

★グリーン購入に関する情報提供、会員情報の発信・メルマガ発行

★会報 みやぎGPNニュースレター 年4回発行

■見学会・研修会の開催

★事業所見学会 令和3年10月29日：七ヶ宿町：森林を活用した持続可能な町づくり(伐採現場・チップ生産現場・チップの利活用現場見学)：講演 生物多様性を育む森による温暖化対策とサーキュラーエコノミー

★グリーン購入セミナー 令和4年2月25日：仙台市市民活動サポートセンター

共催：宮城県・(一社)廃棄物資源循環学会東北支部

テーマ：プラスチック資源循環促進法・サーキュラーエコノミー・容器包装プラスチックリサイクル事例・他

★【市町村等イベントへの出展】

①SDGsマルシェ 主催：尚絅学院大学：令和3年6月27日：サンモール商店街

②利府丸ごとフェア 主催：利府町：令和3年11月23日：リフノス

★SDGs研修会 主催：GPN(6回/年)

■その他 会議 みやぎGPN幹事会、GPN理事会、地域ネットワーク代表者会議

みやぎグリーン購入ネットワーク会員 A会員86 B会員24 合計110 (内 企業78、団体14、行政18)

■情報発信（毎週更新） えしかるちゃんと一緒に考えよう！

世界の平和を願う国連が、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) 社会実現を誓ったSDGs。

SDGsについて理解を深め、あなたも社会を変える！未来を変える！チェンジメーカーのひとりとして一緒に行動していきましょう。

みやぎGPN公認キャラクター！えしかるちゃん

■発行・編集 みやぎグリーン購入ネットワーク事務局

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈三丁目10-6 TEL.022-218-5451 FAX.022-375-7797

Email: m-green@miyagigpn.net ホームページ: <http://www.miyagigpn.net/>



👉こちらからどうぞ

■SDGs出前講座開催中 SDGs NO.12実践による企業の具体的なアクション掘り起こしを一緒に考えます。

■二酸化炭素排出量算定サービス 現状を把握し、省エネに向けた取組の推進と、クレジット取引によるカーボンニュートラル達成への道筋を見つけましょう。

・ご希望の方は、みやぎグリーン購入ネットワーク事務局までご連絡ください。